

令和6年度一般会計・特別会計・企業会計決算 8会計の決算をすべて認定

一般会計と4つの特別会計および3つの企業会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか慎重に審査を行いました。審査にあたっては執行部との間で、多岐にわたって詳細な質疑応答が交わされました。活発な審議の結果、その内容を適正なものと認め、いずれの会計決算も認定しました。

(単位:円)

会 計 名				区 分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額	結果
一 般 会 計					25,867,550,923	25,143,597,663	723,953,260	○
特別会計	国民健康保険特別会計				5,322,714,186	5,289,625,854	33,088,332	○
	国民健康保険診療所特別会計				489,688,665	483,116,616	6,572,049	◎
	後期高齢者医療特別会計				1,344,809,954	1,323,419,912	21,390,042	◎
	介護保険特別会計				4,105,305,962	3,956,115,589	149,190,373	○
	(特 別 会 計 合 計)				11,262,518,767	11,052,277,971	210,240,796	◎
企業会計	訪問看護 ステーション 事業	収益的	収入	46,634,064				◎
			支出		43,251,929	3,382,135		
		資本的	収入	0				
			支出		0	0		
	水道事業	収益的	収入	1,450,052,921			◎	
			支出		1,372,083,311	77,969,610		
		資本的	収入	237,509,300				
			支出		473,454,730	△ 235,945,430		
	下水道事業	収益的	収入	1,748,415,506			◎	
			支出		1,617,377,497	131,038,009		
		資本的	収入	1,043,834,820				
			支出		1,712,398,825	△ 668,564,005		
合 計					41,656,516,301	41,414,441,926	242,074,375	

※◎全会一致で認定・可決及び認定 ○賛成多数で認定

本会議での議案の討論

●議案第60号

令和6年度湖南市一般会計歳入歳出決算の認定について

川波 忠臣議員

反対

予算を過大に計上した結果、不用額が多く発生しました。他事業への予算活用機会を逸し、市民サービス向上に活かせませんでした。積算精査・適正執行と補正予算で弾力運用を徹底すべきとして、認定に反対です。

赤祖父 裕美議員

賛成

実質収支額は、6億6,040万2,260円。基金総額は103億9,101万1,555円と以前より増えている。財政分析指数の4指標は、特段の問題はない。委員会での質疑を踏まえ、心豊かに暮らせる湖南市発展に願いを込めて賛成とします。

●議案第61号

令和6年度湖南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

立入 善治議員

反対

国保法の第1条は事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することとあります。社会保障の観点から、国が責務を果たすことが必至。国の負担を強く求めていただきたい。認定は否とします。

小林 義典議員

賛成

市民福祉の向上が重要であり、健康づくりの取り組みでは、特定検診、特定保健指導、保健師の訪問などにより生活習慣予防を実施している。将来にわたる国民皆保険の持続を支える重要な制度改革であり賛成とする。

●議案第64号

令和6年度湖南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

立入 善治議員

反対

施設入所待機者は特別養護老人ホームで118人、在宅待機者は55人。サービス付き高齢者住宅ができ、入所待機者は減少したとされているが、市として把握できていない。施設不足は事実。高齢化が進むことから改善を求めます。

副田 悦子議員

賛成

特養待機者はいるものの微減している現状であり、関係者が参加する認知症理解を広げる講座や多様な地域ケア会議を開催するなど、地域に寄り添った工夫が見られます。今後の重層的支援体制整備にむけて中核をなしていく地域包括支援センターを進めるべきだと考え認定に賛成します。